

第五十九回 全日本書初め大展覽会・授賞式

第59回全日本書初め大展覽会・授賞式は、2月26日、東京・千代田区の日本武道館において、受賞者・関係者約1300名が出席して、盛大に開催された。

授賞式では1月5日に日本武道館大道場で行われた席書大会の作品2948点（予選を含む）、国内外からの公募作品1万876点の中から選ばれた内閣総理大臣賞をはじめとする特別賞、優秀・優良団体賞の表彰が行われた。

栄えある内閣総理大臣賞を受賞したのは、釣瑞月さん（埼玉県川口市立里小学校5年）、日本武道館大賞には、安藤凜さん（埼玉県加須市立昭和中学校3年）が選ばれた。

内閣総理大臣賞

埼玉県川口市立里小学校5年
釣 瑞月



内閣総理大臣賞を受賞した釣瑞月さん

展覽会・授賞式は、新型コロナウイルス感染症

対策ガイドラインに基づき、感染防止対策を講じて行われた。56回は日本武道館増改修工事のため、57回はコロナウイルスの感染状況を鑑み、席書大会を中止、58回は授賞式を中止したため、席書大会・展覽会・授賞式がすべて開催されたのは、55回以来4年ぶりとなった。大道場で行われた授賞式には例年を上回る約500名が参加、初めて中道場での開催となった展覽会には約800名が来場した。

◇授賞式

授賞式は午後1時から日本武道館大道場で行われた。はじめに臼井日出男大会副会長（日本武道館理事長）が挨拶に立ち、「書初め大展覽会は、日本武道館竣工の翌年昭和四十年に第一回の席書大会が開催されて以来、本年度で第五十九回を迎える、新春恒例の由緒ある大会であります。もう一方の柱である公募の部は、例年同様に数多くのご出品をいただきました。厚く御礼を申し上げます。栄えある各賞に輝いた皆様、心からお慶び申し上げます。今回の受賞を励みに、一層精進され、来年も、さらなる素晴らしい作品を書き上げられますことを心より期



加藤東陽大会審査部長 山谷えり子参議院議員
(書道国会議員連盟) 大滝一登文部科学省
初等中等教育局視学官 臼井日出男大会副会長
(日本武道館理事長)

待いたします」と述べた。
次に、大滝一登^{かずのり}文部科学省初等中等教育局視学官が「本展覧会には、児童生徒や学生の皆さんによる素晴らしい作品が数多く出品されたと伺っており、このことは、書写・書道の水準を一段と向上させ、書の伝統と文化の理解を深め、その良さの継承・発展に大きく寄与するものです。今後も皆さんが、書写・書道に親しむこと



授賞式の様子



展覧会場の中道場は大盛況となった



山谷えり子参議院議員が作品を鑑賞

を通して、感性を高め、想像力や表現力を一層伸ばしつつ、心身ともに豊かに成長され、これからの未来を切り開いていかれることを心から期待しています」と永岡桂子文部科学大臣の祝辞を代読した。
続いて、書道国会議員連盟・山谷えり子参議院議員(日本武道館常任理事)が挨拶に立ち、「先ほど中道場でみなさんの作品を見せていた

できました。素晴らしい作品で感動しました。そして、本日表彰の栄に浴される皆様、誠にありがとうございます。文武両道の聖地である日本武道館で書初めの授賞式が行われるのは喜ばしいことです。今日の喜びを励みとして、どうぞこれからも書の道を続けてください」と述べた。

表彰は内閣総理大臣賞から始まり、受賞者の釣瑞月さんに臼井大会副会長から賞状と盾が手渡され、会場からは大きな拍手が送られた。引き続き、日本武道館大賞、文部科学大臣賞などの特別賞をはじめ、厳肅な雰囲気の中、各賞の表彰が約2時間にわたり行われた。すべての表彰が終わり、加藤東陽第59回展審査部長が審査講評を述べた(詳細は24頁)。最後に、受賞者を代表して釣瑞月さんが謝辞を述べ(詳細は24頁)、閉式となった。

◇展覧会

同日、午前10時から午後4時まで、日本武道館中道場で展覧会が行われた。会場には内閣総理大臣賞をはじめ、日本武道館大賞、文部科学大臣賞など特別賞受賞作品325点、特別出品として大会審査顧問の先生方の作品12点が展示された。開場と同時に受賞者や家族・関係者が多数来場して、自身の作品と並んで記念撮影をする受賞者や受賞作品をじっくり鑑賞する姿がみられ、盛況となった。